

## 平成30年木材統計

素材の需要量は2,654万5千 $m^3$ で、前年に比べ7万9千 $m^3$  (0.3%) 増加  
素材供給量に占める国産材の割合は81.5%で、前年に比べ0.6ポイント上昇

### 【調査結果の概要】

#### 1 素材需給の動向

##### (1) 素材需要量

平成30年の素材需要量は2,654万5千 $m^3$ で、前年に比べ7万9千 $m^3$  (0.3%) 増加した。

このうち、素材需要量の約6割を占める製材用は1,667万2千 $m^3$ で、前年に比べ13万 $m^3$  (0.8%) 減少した。

需要部門別の構成比は、製材用が62.8%、合板等用が19.9%、木材チップ用が17.3%となった。

図1 素材需要量の推移

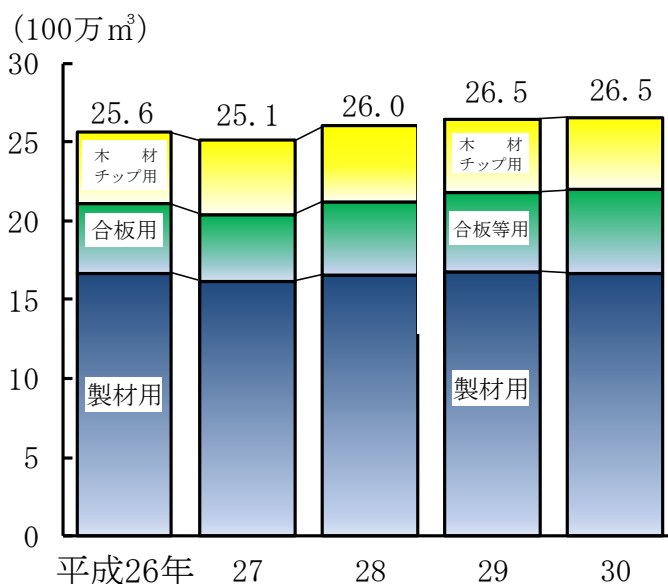


表1 素材需要量 (平成30年)

区分	全国	対前年比	構成比
	千 $m^3$	%	%
素材需要量	26,545	100.3	100.0
製材用	16,672	99.2	62.8
合板等用	5,287	105.7	19.9
木材チップ用	4,586	98.4	17.3

注：1 素材需要量とは、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。

2 平成29年以降の調査から、素材需要量のうち「合板用」を新たにLVL用を含めた「合板等用」に変更したため、平成28年以前の「素材需要量」の計とは数値を比較することができない。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#> 】

(2) 素材供給量

素材供給量のうち国産材は2,164万 $m^3$ で、前年に比べ23万2千 $m^3$ （1.1%）増加、輸入材は490万5千 $m^3$ で、15万4千 $m^3$ （3.0%）減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は81.5%で、前年に比べ0.6ポイント上昇した。

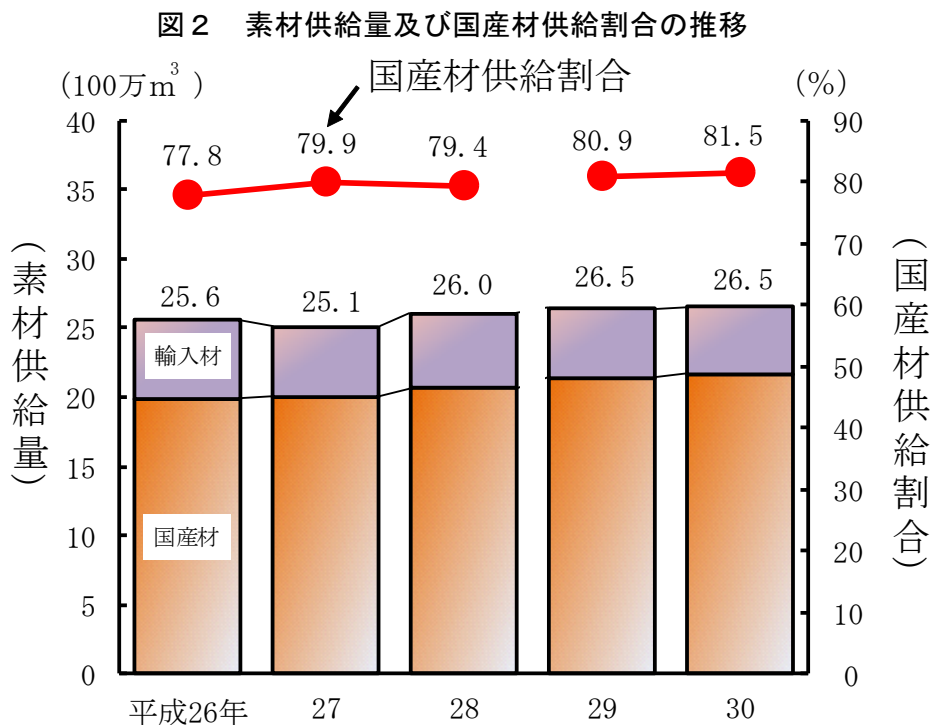


表2 素材供給量（平成30年）

区 分	全 国	対前年比	構成比
	千 $m^3$	%	%
素 材 供 給 量	26,545	100.3	100.0
国 産 材	21,640	101.1	81.5
輸 入 材	4,905	97.0	18.5

注： 素材供給量とは、(1)の素材需要量（製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量）をもって供給量としている。  
このため、素材供給量についても素材需要量と同様の理由で平成28年以前の数値とは比較することができない。

## 2 製材品出荷量

製材品出荷量は920万2千 $m^3$ で、前年に比べ25万5千 $m^3$ （2.7%）減少した。

## 3 普通合板及び特殊合板の生産量

普通合板生産量は329万8千 $m^3$ で、前年に比べ1万1千 $m^3$ （0.3%）増加した。

特殊合板生産量は58万 $m^3$ で、前年に比べ4万3千 $m^3$ （6.9%）減少した。

## 4 L V L生産量

L V L生産量は18万4千 $m^3$ で、前年に比べ5千 $m^3$ （2.8%）増加した。

## 5 木材チップ生産量

木材チップ生産量は570万6千tで、前年に比べ24万8千t（4.2%）減少した。

## 6 集成材及びC L T生産量

集成材生産量は192万3千 $m^3$ で、前年に比べ4万8千 $m^3$ （2.4%）減少した。

C L T生産量は1万4千 $m^3$ であった。

表3 製材品出荷量並びに普通合板、特殊合板、L V L、木材チップ、  
集成材及びC L T生産量（平成30年）

区 分	単位	全 国	対前年比
			%
製材品出荷量	千 $m^3$	9,202	97.3
普通合板生産量	千 $m^3$	3,298	100.3
特殊合板生産量	千 $m^3$	580	93.1
L V L生産量	千 $m^3$	184	102.8
木材チップ生産量	千t	5,706	95.8
集成材生産量	千 $m^3$	1,923	97.6
C L T生産量	千 $m^3$	14	nc

注： C L T工場については、全数調査を実施したが既存階層、新規調査階層のいずれにおいても調査票の未回収が発生したため全数集計ができなかった。

このため、既存階層については前年のC L T生産量を用いて推定を行ったものの、新規調査階層においては前年のC L T生産量を用いた推定ができないことから、新規調査階層及び全国計の調査結果には未回収工場の調査結果が含まれていない（以下、表20及び表22において同じ。）。

◎ 調査結果の主な利活用

森林・林業基本計画における林産物の供給及び利用の目標を算出するための資料としての利用

◎ 累年データ

1 需要部門別素材需要量

単位：千m<sup>3</sup>

年次	計	製材用	合板等用	木材チップ用
平成21年	(22,803)	15,279	(3,107)	4,417
22	(23,724)	15,762	(3,811)	4,151
23	(24,570)	16,426	(3,858)	4,286
24	(24,656)	16,247	(3,837)	4,572
25	(26,029)	17,271	(4,181)	4,577
26	(25,585)	16,661	(4,405)	4,519
27	(25,092)	16,182	(4,218)	4,692
28	(26,029)	16,590	(4,638)	4,801
29	26,466	16,802	5,004	4,660
30	26,545	16,672	5,287	4,586

2 材種別素材供給量

単位：千m<sup>3</sup>

年次	計	国産材	輸入材
平成21年	(22,803)	(16,619)	(6,184)
22	(23,724)	(17,193)	(6,531)
23	(24,570)	(18,290)	(6,280)
24	(24,656)	(18,479)	(6,177)
25	(26,029)	(19,646)	(6,383)
26	(25,585)	(19,916)	(5,669)
27	(25,092)	(20,049)	(5,045)
28	(26,029)	(20,660)	(5,370)
29	26,466	21,408	5,059
30	26,545	21,640	4,905

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』（以下3の統計表まで同じ。）

注：（ ）内の値は、LVL用を含まない（以下2の統計表まで同じ。）。

3 製材品の出荷量、合板（普通・特殊）生産量、木材チップ生産量

年次	製材			合板				木材チップ	
	工場数	製材品の出荷量	人工乾燥材	工場数	普通合板生産量	針葉樹合板	特殊合板生産量	工場数	木材チップ生産量
	工場	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	工場	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	工場	千t
平成21年	6,865	9,291	2,280	208	2,287	1,928	636	1,663	5,129
22	6,569	9,415	2,544	192	2,645	2,281	647	1,577	5,407
23	6,242	9,434	2,632	203	2,486	2,198	703	1,545	5,633
24	5,927	9,302	2,744	197	2,549	2,333	640	1,536	5,861
25	5,690	10,100	2,984	195	2,811	2,627	654	1,510	6,452
26	5,469	9,595	3,219	186	2,813	2,615	584	1,477	5,850
27	5,206	9,231	3,153	185	2,756	2,569	524	1,424	5,745
28	4,934	9,293	3,421	183	3,063	2,888	642	1,393	5,826
29	4,814	9,457	3,929	181	3,287	3,143	623	1,364	5,954
30	4,582	9,202	3,930	180	3,298	3,150	580	1,303	5,706

◎ 関連データ

1 製材品、合板、木材チップ輸入量の推移

年次	製材品	合板	木材チップ
	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千t
平成26年	6,249	2,844	11,656
27	5,997	2,274	11,904
28	6,315	2,156	11,900
29	6,323	2,242	12,170
30	5,968	2,275	12,449

資料：財務省『貿易統計』

2 新設住宅着工戸数及び床面積の推移

年次	戸数	木造住宅	床面積
	千戸	千戸	千m <sup>2</sup>
平成26年	892	489	75,681
27	909	504	75,059
28	967	546	78,183
29	965	545	77,515
30	942	539	75,309

資料：国土交通省『建築統計年報』

## 【調査結果】

### 1 素材需給の動向

#### (1) 素材需要量（統計表16～20ページ参照）

素材需要量は2,654万5千 $m^3$ で、前年比べ7万9千 $m^3$ （0.3%）増加した。

これを需要部門別にみると、製材用は1,667万2千 $m^3$ で、前年に比べ13万 $m^3$ （0.8%）、木材チップ用は458万6千 $m^3$ で、7万4千 $m^3$ （1.6%）それぞれ減少し、合板等用は528万7千 $m^3$ で、28万3千 $m^3$ （5.7%）増加した。

#### (2) 素材供給量（統計表16～20ページ参照）

素材供給量は国産材は2,164万 $m^3$ で、前年に比べ23万2千 $m^3$ （1.1%）増加し、輸入材は490万5千 $m^3$ で、15万4千 $m^3$ （3.0%）減少した。

この結果、素材供給量に占める国産材の割合は81.5%で、前年に比べ0.6ポイント上昇した。

表4 需要部門別、材種別素材供給量（平成30年）

単位：千 $m^3$

供給量 需要部門	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
計	26,545	21,640	19,462	2,178	4,905	175	3,746	359	440	185
製材用	16,672	12,563	12,421	142	4,109	43	3,224	243	415	184
合板等用	5,287	4,492	4,472	20	795	132	522	116	24	1
木材チップ用	4,586	4,585	2,569	2,016	1	-	-	0	1	-
対前年比（%）										
計	100.3	101.1	101.1	101.2	97.0	80.6	96.5	103.2	94.4	124.2
製材用	99.2	99.5	99.3	118.3	98.5	51.8	98.2	100.4	98.6	126.9
合板等用	105.7	109.0	109.0	95.2	90.1	98.5	87.9	109.4	54.5	25.0
木材チップ用	98.4	98.5	97.1	100.2	16.7	-	-	nc	100.0	-
構成比（%）										
計	100.0	81.5	73.3	8.2	18.5	0.7	14.1	1.4	1.7	0.7
製材用	100.0	75.4	74.5	0.9	24.6	0.3	19.3	1.5	2.5	1.1
合板等用	100.0	85.0	84.6	0.4	15.0	2.5	9.9	2.2	0.5	0.0
木材チップ用	100.0	100.0	56.0	44.0	0.0	-	-	0.0	0.0	-

注：構成比については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

ア 国産材供給量（統計表20～24ページ参照）

国産材供給量を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,946万2千 $m^3$ で、前年に比べ20万4千 $m^3$ （1.1%）増加した。

これを樹種別にみると、素材供給量の6割弱を占めるすぎは1,253万2千 $m^3$ で、25万6千 $m^3$ （2.1%）、ひのきは277万1千 $m^3$ で、9千 $m^3$ （0.3%）、えぞまつ・とどまつは111万4千 $m^3$ で、2万4千 $m^3$ （2.2%）それぞれ増加し、からまつは225万2千 $m^3$ で、3万8千 $m^3$ （1.7%）、あかまつ・くろまつは62万8千 $m^3$ で、1万3千 $m^3$ （2.0%）それぞれ減少した。

また、広葉樹は217万8千 $m^3$ で、前年に比べ2万5千 $m^3$ （1.2%）増加した。

図3 国産材の樹種別素材供給量の推移

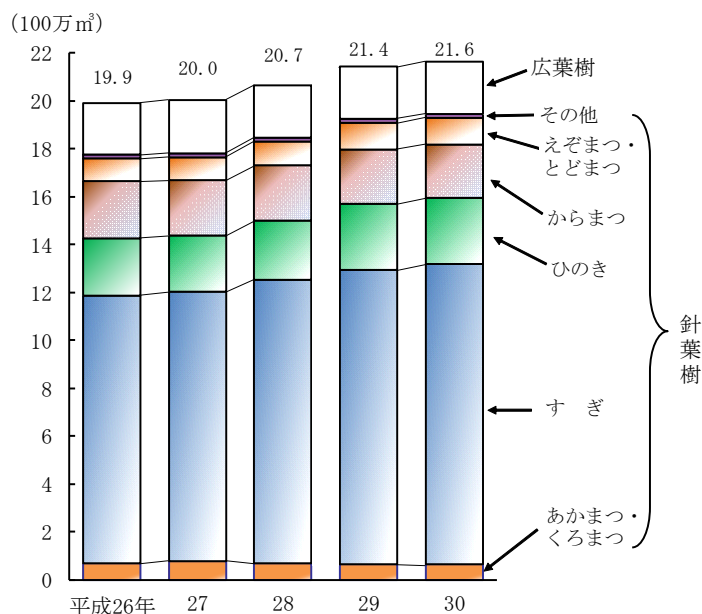


表5 国産材の樹種別素材供給量（平成30年）

供給量 需要部門	計	針 葉 樹							広葉樹
		小 計	あかまつ・くろまつ	す ぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
計	21,640	19,462	628	12,532	2,771	2,252	1,114	165	2,178
製 材 用	12,563	12,421	156	8,237	2,159	1,106	701	62	142
合板等用	4,492	4,472	189	2,851	360	803	242	27	20
木材チップ用	4,585	2,569	283	1,444	252	343	171	76	2,016
対前年比 (%)									
計	101.1	101.1	98.0	102.1	100.3	98.3	102.2	83.3	101.2
製 材 用	99.5	99.3	106.8	100.5	99.1	91.6	98.2	100.0	118.3
合板等用	109.0	109.0	102.7	109.2	118.8	106.1	109.5	100.0	95.2
木材チップ用	98.5	97.1	91.0	98.5	90.0	105.5	110.3	69.7	100.2
構成比 (%)									
計	100.0	89.9	2.9	57.9	12.8	10.4	5.1	0.8	10.1
製 材 用	100.0	98.9	1.2	65.6	17.2	8.8	5.6	0.5	1.1
合板等用	100.0	99.6	4.2	63.5	8.0	17.9	5.4	0.6	0.4
木材チップ用	100.0	56.0	6.2	31.5	5.5	7.5	3.7	1.7	44.0

イ 輸入材供給量（統計表16～19、29ページ参照）

輸入材供給量を産地材別にみると、南洋材は17万5千 $m^3$ で、前年に比べ4万2千 $m^3$ （19.4%）、輸入材の8割弱を占める米材は374万6千 $m^3$ で、13万6千 $m^3$ （3.5%）、ニュージーランド材は44万 $m^3$ で、2万6千 $m^3$ （5.6%）それぞれ減少し、北洋材は35万9千 $m^3$ で、1万1千 $m^3$ （3.2%）増加した。

また、製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量は38万2千 $m^3$ で、2万9千 $m^3$ （7.1%）減少した。

図4 輸入材供給量の推移

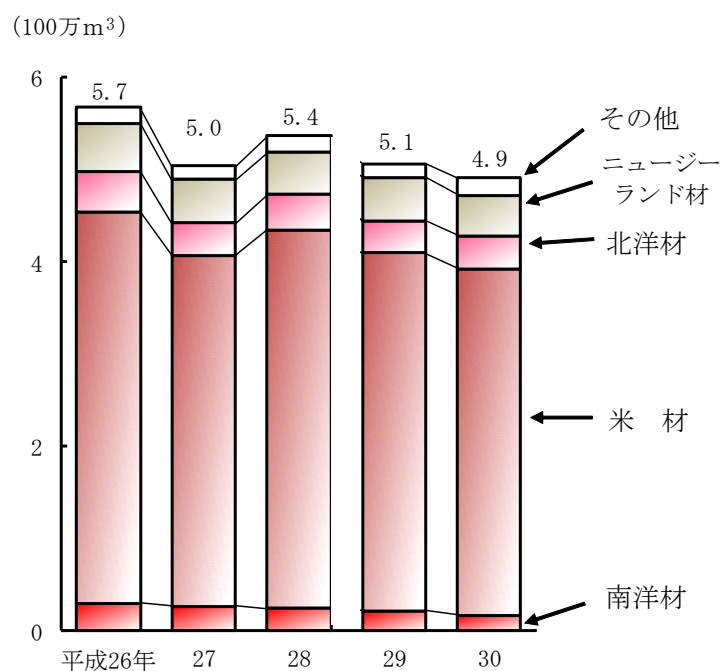


表6 輸入材供給量（平成30年）

区分	計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全国	4,905	175	3,746	359	440	185
対前年比 (%)	97.0	80.6	96.5	103.2	94.4	124.2
構成比 (%)	100.0	3.6	76.4	7.3	9.0	3.8

表7 製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量（平成30年）

区分	計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全国	382	3	88	151	28	112
対前年比 (%)	92.9	30.0	69.3	92.6	103.7	133.3
構成比 (%)	100.0	0.8	23.0	39.5	7.3	29.3

## 2 製材の動向

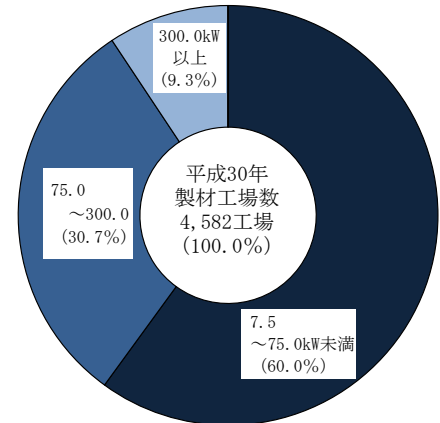
### (1) 製材工場数、製材用動力の出力数（統計表25ページ参照）

製材工場数は4,582工場で、前年に比べ232工場（4.8%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、300.0kW以上の階層で増加し、それ以外の階層では減少した。製材用動力の総出力数は62万4,977.6kWで、前年に比べ7,406.9kW（1.2%）減少した。1工場当たりの出力数は136.4kWで、前年に比べ5kW（3.8%）増加した。

表8 製材工場数、製材動力の出力数（平成30年）

区分	単位	全国	対前年比	構成比
出力階層			%	%
工場数計	工場	4,582	95.2	100.0
7.5～75.0kW未満	"	2,750	94.0	60.0
75.0～300.0	"	1,405	95.8	30.7
300.0kW以上	"	427	100.7	9.3
うち1000.0kW以上	"	71	100.0	1.5
総出力数	kW	624,977.6	98.8	-
1工場当たり出力数	"	136.4	103.8	-

図5 製材工場数の出力階層別構成割合（平成30年）



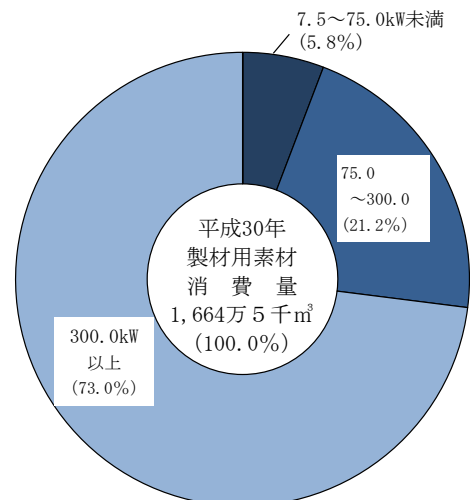
### (2) 製材用素材消費量（統計表27ページ参照）

製材用素材消費量は1,664万5千m<sup>3</sup>で、前年に比べ21万6千m<sup>3</sup>（1.3%）減少した。1工場当たりの素材消費量は3,633m<sup>3</sup>で、前年に比べ131m<sup>3</sup>（3.7%）増加した。

表9 製材動力の出力階層別素材消費量（平成30年）

出力階層	単位	消費量	対前年比	構成比
計	千m <sup>3</sup>	16,645	98.7	100.0
7.5～75.0kW未満	"	965	92.3	5.8
75.0～300.0	"	3,528	88.8	21.2
300.0kW以上	"	12,152	102.6	73.0
うち1000.0kW以上	"	6,943	100.6	41.7
1工場当たり消費量	m <sup>3</sup>	3,633	103.7	-

図6 製材用素材消費量の出力階層別構成割合（平成30年）





(3) 製材品出荷量（統計表28ページ参照）

製材品出荷量は920万2千 $m^3$ で、前年に比べ25万5千 $m^3$ （2.7%）減少した。

これを用途別にみると、土木建設用材及び木箱仕組板・こん包用材は前年に比べ5千 $m^3$ （1.3%）、5万8千 $m^3$ （5.4%）それぞれ増加したものの、8割強を占める建築用材は前年に比べ29万8千 $m^3$ （3.8%）減少した。

また、人工乾燥材出荷量は393万 $m^3$ で、前年並みとなった。

製材品の出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は42.7%で、前年を1.2ポイント上昇した。

図7 用途別製材品出荷量の推移

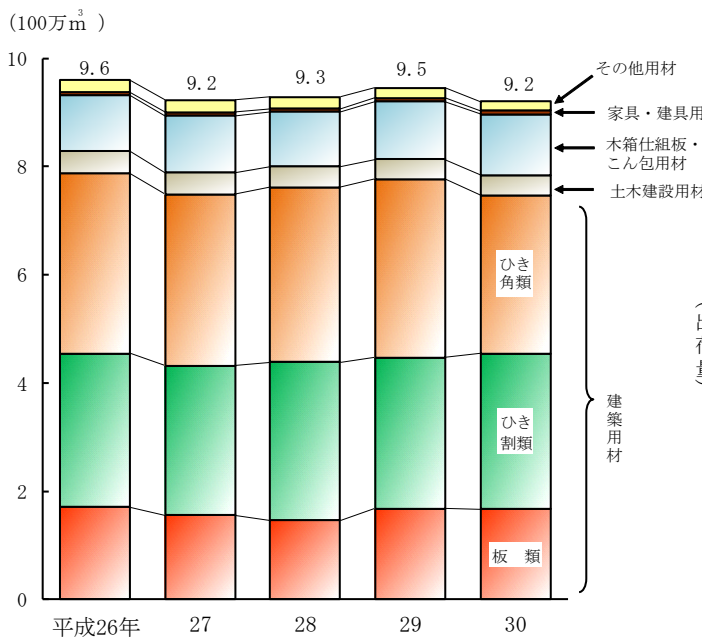


図8 人工乾燥材出荷量及び製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合の推移

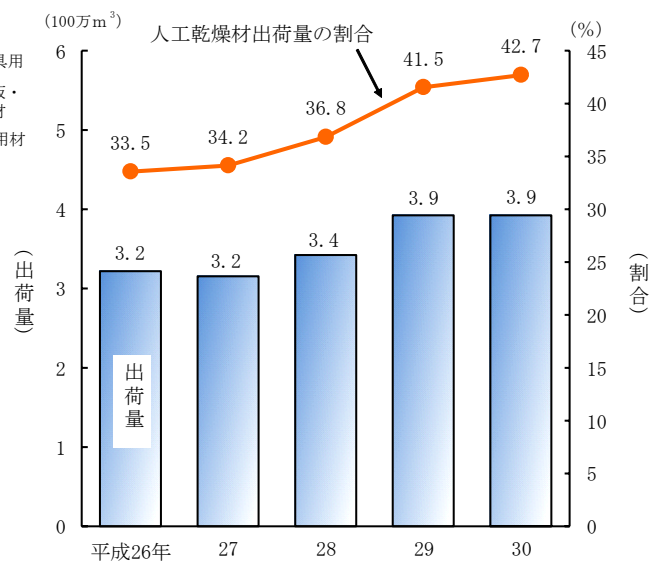


表10 用途別製材品出荷量（平成30年）

区分	単位：千 $m^3$									
	計	人工乾燥材	建築用材			土木建設用材	木箱仕組板・こん包用材	家具・建具用材	その他用材	
			小計	板類	ひき割類					ひき角類
全国	9,202	3,930	7,468	1,674	2,876	2,918	376	1,125	61	172
対前年比 (%)	97.3	100.0	96.2	99.9	102.9	88.6	101.3	105.4	100.0	89.1
構成比 (%)	100.0	42.7	81.2	18.2	31.3	31.7	4.1	12.2	0.7	1.9

### 3 合単板及びLVLの動向

#### (1) 合単板工場数（統計表29ページ参照）

合単板工場数は180工場で、前年に比べ1工場（0.6%）減少した。

これを生産種類別にみると、「単板のみ」を生産している工場は前年に比べ3工場（23.1%）、「普通合板と特殊合板」を生産している工場は1工場（50.0%）それぞれ減少し、「普通合板のみ」を生産している工場は1工場（3.1%）、「特殊合板のみ」を生産している工場は2工場（1.5%）それぞれ増加した。

表11 合単板工場数（平成30年）

区 分	計	単位：工場			
		単板のみ	普通合板のみ	普通合板と特殊合板	特殊合板のみ
全 国	180	10	33	1	136
対前年比 (%)	99.4	76.9	103.1	50.0	101.5
構成比 (%)	100.0	5.6	18.3	0.6	75.6

#### (2) 単板消費量（統計表29ページ参照）

単板消費量は390万1千 $m^3$ で、前年に比べ4万6千 $m^3$ （1.2%）増加した。

これを用途別にみると合板用が364万 $m^3$ 、LVL用が26万1千 $m^3$ となった。

表12 単板消費量（平成30年）

区 分	計	単位：千 $m^3$	
		合板用	LVL用
全 国	3,901	3,640	261
対前年比 (%)	101.2	101.1	102.0
構成比 (%)	100.0	93.3	6.7

#### (3) 普通合板及び特殊合板の生産量

##### ア 普通合板生産量（統計表29～30ページ参照）

普通合板生産量は329万8千 $m^3$ で、前年に比べ1万1千 $m^3$ （0.3%）増加した。

このうち、針葉樹合板生産量は315万 $m^3$ で、前年に比べ7千 $m^3$ （0.2%）増加した。

また、厚さ別にみると、「6mm未満」は前年に比べ7千 $m^3$ （9.1%）、「24mm以上」は1万9千 $m^3$ （1.5%）それぞれ減少したものの、「6～12mm」は1万5千 $m^3$ （3.4%）、「12～24mm」は2万2千 $m^3$ （1.5%）それぞれ増加した。

表13 普通合板生産量（平成30年）

区 分	普通合板 生産量	単位：千 $m^3$					
		厚 さ 別				針 葉 樹 合 板	
		6mm未満	6～12	12～24	24mm以上	構造用	
全 国	3,298	70	458	1,535	1,235	3,150	2,971
対前年比 (%)	100.3	90.9	103.4	101.5	98.5	100.2	98.7
構成比 (%)	100.0	2.1	13.9	46.5	37.4	95.5	90.1

イ 特殊合板生産量（統計表30ページ参照）

特殊合板生産量は58万 $m^3$ で、前年に比べ4万3千 $m^3$ （6.9%）減少した。

表14 特殊合板生産量（平成30年）

単位：千 $m^3$	
区 分	特殊合板生産量
全 国	580
対前年比（%）	93.1

(4) L V L工場数（統計表30ページ参照）

L V L工場数は11工場で、前年に比べ2工場（15.4%）減少した。

表15 L V L工場数（平成30年）

単位：工場	
区 分	L V L工場
全 国	11
対前年比（%）	84.6

(5) L V L生産量（統計表30ページ参照）

L V L生産量は18万4千 $m^3$ で、前年に比べ5千 $m^3$ （2.8%）増加した。

生産量を用途別にみると構造用が8万9千 $m^3$ で、前年に比べ1万 $m^3$ （10.1%）減少したものの、その他が9万5千 $m^3$ で、前年に比べ1万5千 $m^3$ （18.8%）増加した。

表16 L V L生産量（平成30年）

単位：千 $m^3$			
区 分	計	構造用	その他
全 国	184	89	95
対前年比（%）	102.8	89.9	118.8
構 成 比（%）	100.0	48.4	51.6

#### 4 木材チップの動向

##### (1) 木材チップ工場数（統計表31ページ参照）

木材チップ工場数は1,303工場で、前年に比べ61工場（4.5%）減少した。

これを専門・兼営区別にみると、「木材チップ専門工場」は344工場で、前年に比べ16工場（4.4%）、「製材又は合単板工場等との兼営工場」は959工場で45工場（4.5%）それぞれ減少した。

表17 木材チップ工場数（平成30年）

区 分	計	単位：工場	
		木材チップ 専門工場	製材又は合単板 工場等との兼営工場
全 国	1,303	344	959
対前年比 (%)	95.5	95.6	95.5
構成比 (%)	100.0	26.4	73.6

##### (2) 木材チップ生産量（統計表32、33ページ参照）

木材チップ生産量は570万6千tで、前年に比べ24万8千t（4.2%）減少した。

これを原材料別にみると、素材（原木）は前年に比べ7万4千t（2.9%）、工場残材は9万1千t（4.2%）、林地残材は2万2千t（17.3%）、解体材・廃材は6万4千t（5.9%）それぞれ減少した。

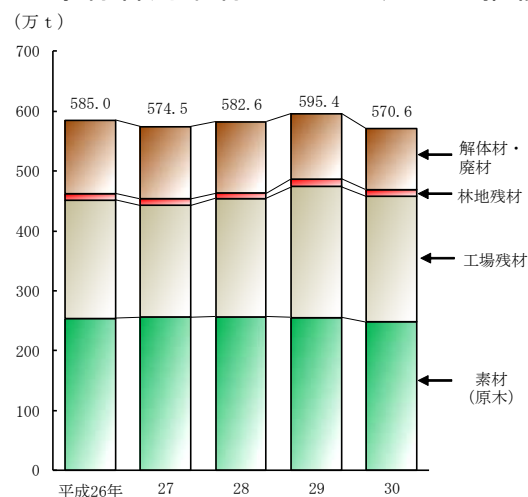
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は345万2千tで、前年に比べ10万2千t（2.9%）、広葉樹は123万1千tで、前年に比べ8万1千t（6.2%）それぞれ減少した。

表18 木材チップ生産量（平成30年）

区 分	生産量	対前年比	構成比
	千 t	%	%
木材チップ生産量	5,706	95.8	100.0
原材料別			
素材（原木）	2,481	97.1	43.5
工場残材	2,097	95.8	36.8
林地残材	105	82.7	1.8
解体材・廃材	1,023	94.1	17.9
針葉樹・広葉樹別			
針 葉 樹	3,452	97.1	-
広 葉 樹	1,231	93.8	-

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図9 原材料別木材チップ生産量の推移



## 5 集成材及びCLTの動向

### (1) 集成材及びCLT工場数（統計表34ページ参照）

集成材工場数は165工場で前年並み、CLT工場数は9工場で、前年に比べ2工場（28.6%）増加した。

表19 集成材及びCLT工場数（平成30年）

単位：工場

区 分	集成材工場	CLT工場
全 国	165	9
対前年比 (%)	100.0	128.6

### (2) ラミナ消費量（統計表34ページ参照）

ラミナ消費量は271万1千 $m^3$ であった。

これを用途別にみると集成材用が269万1千 $m^3$ で、前年に比べ6万4千 $m^3$ （2.3%）減少し、CLT用が2万 $m^3$ であった。

表20 ラミナ消費量（平成30年）

単位：千 $m^3$

区 分	計	集成材用	CLT用
全 国	2,711	2,691	20
対前年比 (%)	nc	97.7	nc
構 成 比 (%)	100.0	99.3	0.7

### (3) 集成材生産量（統計表34ページ参照）

集成材生産量は192万3千 $m^3$ で、前年に比べ4万8千 $m^3$ （2.4%）減少した。

これを用途別にみると構造用が185万2千 $m^3$ で、前年に比べ6千 $m^3$ （0.3%）減少した。

表21 集成材生産量（平成30年）

単位：千 $m^3$

区 分	計	構造用				その他
		小計	大断面	中断面	小断面	
全 国	1,923	1,852	27	784	1,041	71
対前年比 (%)	97.6	99.7	49.1	90.6	111.0	62.8
構 成 比 (%)	100.0	96.3	1.4	40.8	54.1	3.7

- (4) CLT生産量（統計表34ページ参照）  
 CLT生産量は1万4千m<sup>3</sup>となった。

表22 CLT生産量（平成30年）

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計	構造用	その他
全 国	14	13	1
対前年比 (%)	nc	nc	nc
構 成 比 (%)	100.0	92.9	7.1

# 【統計表】

## 統計表一覧

	ページ
1 素材需給（平成30年）	16
2 製材（平成30年）	25
3 合単板及びLVL（平成30年）	29
4 木材チップ（平成30年）	31
5 集成材及びCLT（平成30年）	34

## 利用上の注意

- 1 表中に用いた記号は、次のとおりである。
  - 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4千m<sup>3</sup>→0千m<sup>3</sup>）
  - 「-」： 事実のないもの
  - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
  - 「x」： 個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
  - 「nc」： 計算不能
- 2 秘匿措置について  
統計調査結果について、調査対象数が2以下の場合には、調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。  
なお、全体（計）からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。
- 3 数値の四捨五入について  
統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
- 4 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成30年木材統計」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 素材需給（平成30年）

(1) 材種別素材需要量

ア 合計

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージ ーランド材	その他
全 国	26,545	21,640	19,462	2,178	4,905	175	3,746	359	440	185
北 海 道	3,118	3,033	2,457	576	85	45	x	0	-	x
青 森	588	586	515	71	2	-	x	x	-	-
岩 手	1,270	1,259	1,018	241	11	-	x	x	-	-
宮 城	1,349	1,229	1,172	57	120	-	x	x	-	-
秋 田	1,518	1,480	1,357	123	38	x	x	x	-	x
山 形	374	372	341	31	2	-	2	-	-	-
福 島	977	911	749	162	66	-	54	-	-	12
茨 城	1,344	308	279	29	1,036	-	x	-	x	-
栃 木	588	571	527	44	17	x	6	x	x	-
群 馬	168	165	155	10	3	x	2	x	-	x
埼 玉	89	88	62	26	1	-	1	-	-	-
千 葉	179	122	82	40	57	x	17	39	x	-
東 京	14	x	x	x	x	x	x	-	x	-
神 奈 川	9	x	x	x	x	-	x	-	-	-
新 潟	261	131	126	5	130	85	x	x	-	-
富 山	249	122	109	13	127	-	x	x	x	-
石 川	386	318	298	20	68	0	44	24	-	-
福 井	78	x	63	x	x	0	11	x	-	-
山 梨	144	x	95	x	x	-	x	-	-	-
長 野	215	201	194	7	14	x	9	0	x	-
岐 阜	428	404	398	6	24	2	15	x	-	x
静 岡	379	346	x	x	33	1	28	2	1	1
愛 知	124	82	73	9	42	10	27	x	x	x
三 重	378	291	284	7	87	4	66	x	4	x
滋 賀	81	75	56	19	6	x	2	x	2	x
京 都	428	282	257	25	146	-	56	x	-	x
大 阪	13	4	4	0	9	0	8	x	x	-
兵 庫	211	175	165	10	36	10	8	x	x	7
奈 良	194	151	151	0	43	x	x	-	-	-
和 歌 山	258	222	216	6	36	-	11	-	x	x
鳥 取	599	442	413	29	157	-	x	-	x	-
島 根	918	758	637	121	160	x	125	17	x	-
岡 山	327	324	312	12	3	x	x	x	-	-
広 島	2,071	386	x	x	1,685	x	1,499	8	177	x
山 口	287	176	148	28	111	0	106	0	5	0
徳 島	469	402	382	20	67	-	67	-	-	-
香 川	50	7	7	-	43	x	6	x	-	33
愛 媛	775	617	617	0	158	x	124	x	x	-
高 知	582	421	407	14	161	-	x	-	x	-
福 岡	493	473	466	7	20	1	10	-	-	9
佐 賀	216	213	195	18	3	-	3	-	-	-
長 崎	100	96	59	37	4	x	x	-	x	-
熊 本	1,155	1,104	1,060	44	51	2	33	x	x	-
大 分	822	816	806	10	6	-	6	-	-	-
宮 崎	1,862	1,843	1,792	51	19	x	10	x	4	4
鹿 児 島	406	x	343	x	x	-	-	-	x	-
沖 縄	1	x	x	x	x	x	-	-	-	-



イ 製材用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	国 産 材			輸 入 材					
		小 計	針 葉 樹	広 葉 樹	小 計	南 洋 材	米 材	北 洋 材	ニュージ ーランド材	その他
全 国	16,672	12,563	12,421	142	4,109	43	3,224	243	415	184
北 海 道	1,792	1,756	1,711	45	36	-	36	-	-	-
青 森	x	x	x	x	x	-	x	-	-	-
岩 手	606	x	x	x	x	-	x	-	-	-
宮 城	x	x	x	x	x	-	x	-	-	-
秋 田	514	x	x	x	x	x	x	x	-	x
山 形	279	277	276	1	2	-	2	-	-	-
福 島	673	607	605	2	66	-	54	-	-	12
茨 城	1,274	238	235	3	1,036	-	x	-	x	-
栃 木	468	451	451	0	17	x	6	x	x	-
群 馬	129	126	123	3	3	x	2	x	-	x
埼 玉	51	50	47	3	1	-	1	-	-	-
千 葉	x	x	24	x	x	x	17	x	x	-
東 京	x	x	x	x	x	x	x	-	x	-
神 奈 川	9	x	x	x	x	-	x	-	-	-
新 潟	107	x	73	x	x	x	x	x	-	-
富 山	209	x	81	x	x	-	x	x	-	-
石 川	58	x	x	x	x	0	x	x	-	-
福 井	x	x	x	x	x	0	11	x	-	-
山 梨	x	x	x	x	x	-	x	-	-	-
長 野	147	133	132	1	14	x	9	0	x	-
岐 阜	259	235	x	x	24	2	15	x	-	x
静 岡	217	184	184	-	33	1	28	2	1	1
愛 知	112	70	67	3	42	10	27	x	x	x
三 重	264	177	x	x	87	4	66	x	4	x
滋 賀	31	25	25	0	6	x	2	x	2	x
京 都	129	x	31	x	x	-	x	x	-	x
大 阪	13	4	x	x	9	0	8	x	x	-
兵 庫	170	134	x	x	36	10	8	x	x	7
奈 良	187	144	x	x	43	x	x	-	-	-
和 歌 山	207	171	x	x	36	-	11	-	x	x
鳥 取	x	x	x	0	x	-	x	-	-	-
島 根	100	78	78	0	22	x	x	x	x	-
岡 山	304	301	301	0	3	x	x	x	-	-
広 島	1,890	206	206	0	1,684	x	x	x	x	-
山 口	244	133	132	1	111	0	106	0	5	0
徳 島	217	x	x	-	x	-	x	-	-	-
香 川	50	7	7	-	43	x	6	x	-	33
愛 媛	742	584	584	-	158	x	124	x	x	-
高 知	437	276	x	x	161	-	x	-	x	-
福 岡	461	441	441	-	20	1	10	-	-	9
佐 賀	191	188	188	-	3	-	3	-	-	-
長 崎	41	37	37	0	4	x	x	-	x	-
熊 本	716	x	x	x	x	2	x	x	x	-
大 分	793	787	x	x	6	-	6	-	-	-
宮 崎	1,760	x	1,726	x	x	x	10	x	x	4
鹿 児 島	x	x	262	x	x	-	-	-	x	-
沖 縄	x	x	x	x	x	x	-	-	-	-

1 素材需給（平成30年）（続き）

(1) 材種別素材需要量（続き）

ウ 合板等用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージ ーランド材	その他
全 国	5,287	4,492	4,472	20	795	132	522	116	24	1
北 海 道	374	325	306	19	49	45	x	0	-	x
青 森	x	x	x	x	x	-	x	x	-	-
岩 手	x	x	x	-	x	-	-	x	-	-
宮 城	997	x	x	-	x	-	x	x	-	-
秋 田	x	x	x	-	x	x	x	x	-	-
山 形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨 城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃 木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群 馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼 玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千 葉	x	x	x	-	x	-	-	x	-	-
東 京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 奈 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新 潟	x	x	x	-	x	x	-	x	-	-
富 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石 川	x	x	x	-	x	-	x	x	-	-
福 井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山 梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長 野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐 阜	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
静 岡	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
愛 知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三 重	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
滋 賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京 都	x	x	x	-	x	-	x	x	-	-
大 阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵 庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈 良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和 歌 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥 取	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-
島 根	603	465	465	-	138	-	x	x	-	-
岡 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広 島	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
山 口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳 島	x	x	x	-	x	-	x	-	-	-
香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高 知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐 賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長 崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 本	x	x	x	-	x	-	x	-	-	-
大 分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮 崎	x	x	x	-	x	-	-	-	x	-
鹿 児 島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

エ 木材チップ用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	国 産 材			輸 入 材					
		小 計	針葉樹	広葉樹	小 計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージ ーランド材	その他
全 国	4,586	4,585	2,569	2,016	1	-	-	0	1	-
北 海 道	952	952	440	512	-	-	-	-	-	-
青 森	273	273	204	69	-	-	-	-	-	-
岩 手	x	x	136	x	-	-	-	-	-	-
宮 城	x	x	97	x	-	-	-	-	-	-
秋 田	x	x	85	x	-	-	-	-	-	-
山 形	95	95	65	30	-	-	-	-	-	-
福 島	304	304	144	160	-	-	-	-	-	-
茨 城	70	70	44	26	-	-	-	-	-	-
栃 木	120	120	76	44	-	-	-	-	-	-
群 馬	39	39	32	7	-	-	-	-	-	-
埼 玉	38	38	15	23	-	-	-	-	-	-
千 葉	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
東 京	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-
神 奈 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新 潟	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
富 山	40	x	28	x	x	-	-	0	x	-
石 川	x	x	16	x	-	-	-	-	-	-
福 井	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
山 梨	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
長 野	68	68	62	6	-	-	-	-	-	-
岐 阜	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
静 岡	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
愛 知	12	12	6	6	-	-	-	-	-	-
三 重	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
滋 賀	50	50	31	19	-	-	-	-	-	-
京 都	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
大 阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵 庫	41	41	31	10	-	-	-	-	-	-
奈 良	7	7	7	0	-	-	-	-	-	-
和 歌 山	51	51	45	6	-	-	-	-	-	-
鳥 取	x	x	x	29	-	-	-	-	-	-
島 根	215	215	94	121	-	-	-	-	-	-
岡 山	23	23	11	12	-	-	-	-	-	-
広 島	x	x	x	x	x	-	-	-	x	-
山 口	43	43	16	27	-	-	-	-	-	-
徳 島	x	x	x	20	-	-	-	-	-	-
香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	33	33	33	0	-	-	-	-	-	-
高 知	145	145	132	13	-	-	-	-	-	-
福 岡	32	32	25	7	-	-	-	-	-	-
佐 賀	25	25	7	18	-	-	-	-	-	-
長 崎	59	59	22	37	-	-	-	-	-	-
熊 本	x	x	82	x	-	-	-	-	-	-
大 分	29	29	19	10	-	-	-	-	-	-
宮 崎	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-
鹿 児 島	x	x	81	x	-	-	-	-	-	-
沖 縄	x	x	-	x	-	-	-	-	-	-

1 素材需給（平成30年）（続き）

(1) 材種別素材需要量（続き）

(2) 需要部門別国産材の素材生産量

オ 自県材・他県材別

単位：千m<sup>3</sup>

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	国 産 材			計	製材用	合板等用	木材チップ用
	小 計	自 県 材	他 県 材				
全 国	21,640	15,972	5,668	21,640	12,563	4,492	4,585
北 海 道	3,033	3,033	-	3,335	1,771	612	952
青 森	586	540	46	899	360	301	238
岩 手	1,259	1,031	228	1,514	524	589	401
宮 城	1,229	573	656	614	181	283	150
秋 田	1,480	1,178	302	1,285	496	602	187
山 形	372	251	121	355	184	92	79
福 島	911	639	272	859	488	68	303
茨 城	308	165	143	405	316	2	87
栃 木	571	425	146	577	477	4	96
群 馬	165	153	12	234	152	32	50
埼 玉	88	60	28	74	38	0	36
千 葉	122	85	37	90	25	0	65
東 京	x	x	x	27	18	1	8
神 奈 川	x	x	x	19	11	2	6
新 潟	131	91	40	99	58	27	14
富 山	122	40	82	57	26	17	14
石 川	318	112	206	132	56	31	45
福 井	x	57	x	100	46	27	27
山 梨	x	115	x	138	24	18	96
長 野	201	197	4	485	170	232	83
岐 阜	404	322	82	426	248	86	92
静 岡	346	332	14	367	204	107	56
愛 知	82	70	12	197	92	93	12
三 重	291	201	90	295	204	46	45
滋 賀	75	50	25	76	23	15	38
京 都	282	118	164	137	49	32	56
大 阪	4	2	2	6	5	0	1
兵 庫	175	106	69	298	96	140	62
奈 良	151	104	47	121	110	6	5
和 歌 山	222	171	51	222	143	27	52
鳥 取	442	192	250	283	75	156	52
島 根	758	420	338	503	97	219	187
岡 山	324	235	89	351	295	22	34
広 島	386	256	130	339	150	26	163
山 口	176	142	34	231	132	23	76
徳 島	402	254	148	295	175	67	53
香 川	7	4	3	4	4	-	-
愛 媛	617	440	177	523	484	6	33
高 知	421	383	38	519	329	45	145
福 岡	473	109	364	218	189	0	29
佐 賀	213	66	147	123	99	-	24
長 崎	96	89	7	117	56	1	60
熊 本	1,104	728	376	1,045	826	101	118
大 分	816	568	248	1,075	912	129	34
宮 崎	1,843	1,521	322	1,925	1,753	91	81
鹿 児 島	x	x	x	645	391	114	140
沖 縄	x	x	x	1	1	-	0

注： 各都道府県別の素材需要量は当該都道府県の製材工場等への工場入荷量であり、素材生産量はこれらの入荷先の各都道府県で生産されたものとした素材の量である。このため、都道府県の素材需要量と素材生産量は一致しない場合がある。

## (3) 国産材の樹種別素材生産量

## ア 合計

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
全 国	21,640	19,462	628	12,532	2,771	2,252	1,114	165	2,178
北 海 道	3,335	2,758	0	64	0	1,538	1,114	42	577
青 森	899	838	70	711	-	36	-	21	61
岩 手	1,514	1,238	230	750	0	258	-	0	276
宮 城	614	556	80	467	3	5	-	1	58
秋 田	1,285	1,178	3	1,130	-	28	-	17	107
山 形	355	331	9	313	0	9	-	-	24
福 島	859	704	45	585	51	21	-	2	155
茨 城	405	373	5	281	86	0	-	1	32
栃 木	577	535	4	376	149	3	-	3	42
群 馬	234	226	8	150	23	43	-	2	8
埼 玉	74	47	1	33	11	1	-	1	27
千 葉	90	48	1	40	5	1	-	1	42
東 京	27	24	1	14	9	0	-	0	3
神 奈 川	19	16	1	9	6	-	-	0	3
新 潟	99	92	0	92	0	0	-	0	7
富 山	57	51	1	49	1	0	-	0	6
石 川	132	107	5	92	1	1	-	8	25
福 井	100	96	0	91	4	0	-	1	4
山 梨	138	100	14	31	14	26	-	15	38
長 野	485	476	45	93	53	265	-	20	9
岐 阜	426	412	6	223	163	17	-	3	14
静 岡	367	359	3	181	170	0	-	5	8
愛 知	197	190	1	104	81	0	-	4	7
三 重	295	288	1	164	116	-	-	7	7
滋 賀	76	64	2	41	21	-	-	-	12
京 都	137	118	0	89	29	-	-	-	19
大 阪	6	6	0	4	2	-	-	-	0
兵 庫	298	282	2	192	88	0	-	0	16
奈 良	121	121	0	70	50	-	-	1	0
和 歌 山	222	216	0	134	82	-	-	0	6
鳥 取	283	253	12	188	52	-	-	1	30
島 根	503	397	24	316	49	0	-	8	106
岡 山	351	328	5	104	218	0	-	1	23
広 島	339	219	17	99	103	0	-	0	120
山 口	231	190	4	139	47	-	-	0	41
徳 島	295	275	1	231	43	-	-	-	20
香 川	4	4	0	1	3	0	-	-	-
愛 媛	523	523	11	312	200	-	-	0	0
高 知	519	505	3	321	181	-	-	0	14
福 岡	218	207	1	163	43	-	-	0	11
佐 賀	123	109	1	66	42	-	-	-	14
長 崎	117	79	0	35	44	-	-	-	38
熊 本	1,045	1,000	2	784	214	-	-	0	45
大 分	1,075	1,061	0	898	163	-	-	-	14
宮 崎	1,925	1,881	6	1,790	85	-	-	-	44
鹿 児 島	645	581	3	512	66	-	-	0	64
沖 縄	1	0	-	-	-	-	-	0	1

1 素材需給（平成30年）（続き）  
 (3) 国産材の樹種別素材生産量（続き）  
 イ 製材用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
全 国	12,563	12,421	156	8,237	2,159	1,106	701	62	142
北 海 道	1,771	1,725	0	61	0	949	701	14	46
青 森	360	357	6	320	-	10	-	21	3
岩 手	524	485	31	378	0	76	-	0	39
宮 城	181	180	33	145	2	0	-	0	1
秋 田	496	488	0	487	-	1	-	0	8
山 形	184	182	0	182	-	0	-	-	2
福 島	488	485	14	428	39	2	-	2	3
茨 城	316	314	-	232	82	0	-	0	2
栃 木	477	477	-	328	148	-	-	1	0
群 馬	152	151	2	119	18	11	-	1	1
埼 玉	38	34	-	27	7	0	-	0	4
千 葉	25	25	-	20	3	1	-	1	0
東 京	18	18	-	10	8	0	-	0	0
神 奈 川	11	11	-	6	5	-	-	0	0
新 潟	58	57	-	57	0	0	-	0	1
富 山	26	26	-	25	1	-	-	0	0
石 川	56	56	0	47	1	0	-	8	0
福 井	46	46	0	44	1	0	-	1	0
山 梨	24	24	2	15	3	3	-	1	0
長 野	170	169	16	48	44	53	-	8	1
岐 阜	248	243	2	132	108	0	-	1	5
静 岡	204	204	0	106	98	-	-	0	0
愛 知	92	91	0	48	43	-	-	0	1
三 重	204	204	0	105	98	-	-	1	0
滋 賀	23	23	0	13	10	-	-	-	0
京 都	49	49	0	39	10	-	-	-	0
大 阪	5	5	0	3	2	-	-	-	0
兵 庫	96	96	1	69	26	-	-	0	0
奈 良	110	110	0	64	45	-	-	1	0
和 歌 山	143	143	0	90	53	-	-	0	0
鳥 取	75	75	5	44	26	-	-	0	0
島 根	97	97	13	68	16	0	-	0	0
岡 山	295	295	4	81	209	-	-	1	0
広 島	150	150	5	70	75	-	-	0	0
山 口	132	131	2	92	37	-	-	0	1
徳 島	175	175	-	146	29	-	-	-	-
香 川	4	4	0	1	3	0	-	-	-
愛 媛	484	484	11	275	198	-	-	0	-
高 知	329	328	3	160	165	-	-	0	1
福 岡	189	188	-	149	39	-	-	0	1
佐 賀	99	99	0	61	38	-	-	-	-
長 崎	56	56	0	28	28	-	-	-	0
熊 本	826	820	1	628	191	-	-	0	6
大 分	912	912	-	767	145	-	-	-	0
宮 崎	1,753	1,742	5	1,661	76	-	-	-	11
鹿 児 島	391	387	-	358	29	-	-	0	4
沖 縄	1	0	-	-	-	-	-	0	1

ウ 合板等用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
全 国	4,492	4,472	189	2,851	360	803	242	27	20
北 海 道	612	593	-	1	-	323	242	27	19
青 森	301	301	28	249	-	24	-	-	0
岩 手	589	588	120	309	-	159	-	-	1
宮 城	283	283	18	261	-	4	-	-	-
秋 田	602	602	0	576	-	26	-	-	-
山 形	92	92	1	83	0	8	-	-	-
福 島	68	68	5	44	-	19	-	-	-
茨 城	2	2	0	1	1	-	-	-	-
栃 木	4	4	-	0	1	3	-	-	-
群 馬	32	32	2	4	1	25	-	-	-
埼 玉	0	0	-	0	-	-	-	-	-
千 葉	0	0	-	0	-	-	-	-	-
東 京	1	1	-	1	-	-	-	-	-
神 奈 川	2	2	-	1	1	-	-	-	-
新 潟	27	27	-	27	-	0	-	-	-
富 山	17	17	-	17	0	0	-	-	-
石 川	31	31	0	31	0	0	-	-	-
福 井	27	27	-	26	1	-	-	-	-
山 梨	18	18	2	0	2	14	-	-	-
長 野	232	232	12	36	3	181	-	0	-
岐 阜	86	86	0	44	25	17	-	-	-
静 岡	107	107	-	48	59	-	-	-	-
愛 知	93	93	1	54	38	0	-	-	-
三 重	46	46	-	32	14	-	-	-	-
滋 賀	15	15	0	11	4	-	-	-	-
京 都	32	32	-	24	8	-	-	-	-
大 阪	0	0	-	-	0	-	-	-	-
兵 庫	140	140	-	87	53	0	-	-	-
奈 良	6	6	-	3	3	-	-	-	-
和 歌 山	27	27	-	17	10	-	-	-	-
鳥 取	156	156	0	133	23	-	-	-	-
島 根	219	219	0	197	22	0	-	-	-
岡 山	22	22	-	18	4	0	-	-	-
広 島	26	26	-	8	18	0	-	-	-
山 口	23	23	-	17	6	-	-	-	-
徳 島	67	67	-	60	7	-	-	-	-
香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	6	6	-	6	-	-	-	-	-
高 知	45	45	-	41	4	-	-	-	-
福 岡	0	0	-	0	-	-	-	-	-
佐 賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長 崎	1	1	-	1	-	-	-	-	-
熊 本	101	101	-	84	17	-	-	-	-
大 分	129	129	-	111	18	-	-	-	-
宮 崎	91	91	-	82	9	-	-	-	-
鹿 児 島	114	114	-	106	8	-	-	-	-
沖 縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1 素材需給（平成30年）（続き）  
 (3) 国産材の樹種別素材生産量（続き）  
 エ 木材チップ用

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ ・ くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ ・ とどまつ	その他	
全 国	4,585	2,569	283	1,444	252	343	171	76	2,016
北 海 道	952	440	-	2	0	266	171	1	512
青 森	238	180	36	142	-	2	-	-	58
岩 手	401	165	79	63	-	23	-	0	236
宮 城	150	93	29	61	1	1	-	1	57
秋 田	187	88	3	67	-	1	-	17	99
山 形	79	57	8	48	-	1	-	-	22
福 島	303	151	26	113	12	0	-	0	152
茨 城	87	57	5	48	3	-	-	1	30
栃 木	96	54	4	48	0	0	-	2	42
群 馬	50	43	4	27	4	7	-	1	7
埼 玉	36	13	1	6	4	1	-	1	23
千 葉	65	23	1	20	2	-	-	-	42
東 京	8	5	1	3	1	-	-	0	3
神 奈 川	6	3	1	2	0	-	-	0	3
新 潟	14	8	0	8	-	0	-	0	6
富 山	14	8	1	7	-	-	-	-	6
石 川	45	20	5	14	-	1	-	0	25
福 井	27	23	0	21	2	-	-	0	4
山 梨	96	58	10	16	9	9	-	14	38
長 野	83	75	17	9	6	31	-	12	8
岐 阜	92	83	4	47	30	0	-	2	9
静 岡	56	48	3	27	13	0	-	5	8
愛 知	12	6	-	2	-	-	-	4	6
三 重	45	38	1	27	4	-	-	6	7
滋 賀	38	26	2	17	7	-	-	-	12
京 都	56	37	0	26	11	-	-	-	19
大 阪	1	1	0	1	0	-	-	-	0
兵 庫	62	46	1	36	9	-	-	0	16
奈 良	5	5	-	3	2	-	-	-	0
和 歌 山	52	46	-	27	19	-	-	0	6
鳥 取	52	22	7	11	3	-	-	1	30
島 根	187	81	11	51	11	-	-	8	106
岡 山	34	11	1	5	5	-	-	0	23
広 島	163	43	12	21	10	-	-	-	120
山 口	76	36	2	30	4	-	-	-	40
徳 島	53	33	1	25	7	-	-	-	20
香 川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛 媛	33	33	-	31	2	-	-	-	0
高 知	145	132	-	120	12	-	-	-	13
福 岡	29	19	1	14	4	-	-	-	10
佐 賀	24	10	1	5	4	-	-	-	14
長 崎	60	22	-	6	16	-	-	-	38
熊 本	118	79	1	72	6	-	-	-	39
大 分	34	20	0	20	-	-	-	-	14
宮 崎	81	48	1	47	-	-	-	-	33
鹿 児 島	140	80	3	48	29	-	-	-	60
沖 縄	0	-	-	-	-	-	-	-	0



## 2 製材（平成30年）

### (1) 製材工場数、製材用動力の出力数

全国 ・ 都道府県	製材工場数					製材用 動力の 出力数  kW
	計	7.5～ 75.0kW 未満	75.0 ～ 300.0	300.0kW 以上	1,000.0kW以上	
	工場	工場	工場	工場	工場	
全 国	4,582	2,750	1,405	427	71	624,977.6
北 海 道	176	18	83	75	8	60,517.0
青 森	80	42	28	10	1	11,708.3
岩 手	125	62	43	20	3	20,804.5
宮 城	84	56	17	11	1	12,286.3
秋 田	101	42	40	19	4	23,073.9
山 形	107	70	27	10	2	14,320.1
福 島	161	105	44	12	2	21,637.9
茨 城	102	66	32	4	2	14,314.3
栃 木	115	74	29	12	2	15,486.7
群 馬	86	42	35	9	1	11,097.6
埼 玉	54	39	12	3	-	3,637.9
千 葉	101	76	24	1	-	6,376.3
東 京	23	16	7	-	-	1,642.0
神 奈 川	23	20	3	-	-	1,010.2
新 潟	185	142	35	8	-	13,992.5
富 山	68	37	24	7	1	9,018.8
石 川	72	51	17	4	1	6,552.2
福 井	116	86	28	2	-	8,000.8
山 梨	24	13	8	3	-	2,863.5
長 野	138	82	46	10	1	16,193.2
岐 阜	212	158	46	8	2	16,427.4
静 岡	189	126	52	11	1	18,326.6
愛 知	112	74	37	1	1	9,862.6
三 重	204	142	58	4	1	14,749.2
滋 賀	91	68	21	2	-	5,960.9
京 都	61	39	16	6	2	9,092.5
大 阪	37	23	13	1	-	2,865.9
兵 庫	102	60	35	7	1	11,815.8
奈 良	169	129	37	3	-	9,869.6
和 歌 山	105	66	35	4	2	11,516.9
鳥 取	43	29	13	1	1	3,937.7
島 根	80	46	29	5	-	8,425.2
岡 山	73	36	28	9	2	14,991.9
広 島	76	44	17	15	5	31,796.2
山 口	64	38	19	7	2	10,494.0
徳 島	94	48	34	12	1	14,092.3
香 川	27	11	14	2	-	3,678.5
愛 媛	96	40	42	14	3	19,966.8
高 知	86	38	36	12	4	17,495.4
福 岡	108	74	27	7	-	10,548.0
佐 賀	49	37	9	3	1	5,243.6
長 崎	50	33	15	2	-	4,017.2
熊 本	134	71	52	11	1	18,018.6
大 分	125	69	41	15	2	19,949.4
宮 崎	141	42	63	36	9	45,464.6
鹿 児 島	110	69	32	9	1	11,606.8
沖 縄	3	1	2	-	-	230.0

2 製材（平成30年）（続き）

(2) 製材用素材の国産材・輸入材入荷別工場数及び入荷量

全 国 都道府県	計		国産材のみ		国産材と輸入材		輸入材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
	工場	千m <sup>3</sup>	工場	千m <sup>3</sup>	工場	千m <sup>3</sup>	工場	千m <sup>3</sup>
全 国	4,551	16,672	3,521	11,628	792	2,726	238	2,318
北 海 道	176	1,792	162	1,612	14	180	-	-
青 森	80	x	66	x	14	7	-	-
岩 手	125	606	106	558	19	48	-	-
宮 城	84	x	56	x	27	8	1	x
秋 田	101	514	81	469	20	45	-	-
山 形	107	279	87	256	20	23	-	-
福 島	161	673	112	586	21	23	28	64
茨 城	102	1,274	91	235	8	6	3	1,033
栃 木	115	468	105	446	4	9	6	13
群 馬	86	129	69	112	17	17	-	-
埼 玉	54	51	50	50	2	x	2	x
千 葉	101	x	91	x	6	21	4	9
東 京	23	x	16	x	6	3	1	x
神 奈 川	22	9	20	7	1	x	1	x
新 潟	170	107	129	67	35	9	6	31
富 山	68	209	41	13	17	76	10	120
石 川	67	58	32	48	32	9	3	1
福 井	116	x	69	x	47	34	-	-
山 梨	24	x	22	x	1	x	1	x
長 野	138	147	102	121	35	x	1	x
岐 阜	202	259	181	213	10	32	11	14
静 岡	189	217	134	161	44	37	11	19
愛 知	112	112	71	51	17	52	24	9
三 重	204	264	182	171	14	10	8	83
滋 賀	91	31	66	x	24	18	1	x
京 都	61	129	33	x	26	86	2	x
大 阪	37	13	11	3	18	3	8	7
兵 庫	102	170	78	121	18	23	6	26
奈 良	169	187	145	132	12	16	12	39
和 歌 山	105	207	81	167	17	12	7	28
鳥 取	43	x	30	x	13	6	-	-
島 根	80	100	47	55	33	45	-	-
岡 山	73	304	66	294	7	10	-	-
広 島	76	1,890	40	53	19	1,478	17	359
山 口	64	244	32	x	30	29	2	x
徳 島	94	217	52	166	31	45	11	6
香 川	27	50	2	x	5	42	20	x
愛 媛	96	742	71	549	21	62	4	131
高 知	86	437	70	271	11	12	5	154
福 岡	108	461	88	440	12	20	8	1
佐 賀	49	191	45	181	4	10	-	-
長 崎	50	41	36	32	14	9	-	-
熊 本	134	716	113	684	21	32	-	-
大 分	125	793	117	763	8	30	-	-
宮 崎	141	1,760	113	1,685	14	62	14	13
鹿 児 島	110	x	108	x	2	x	-	-
沖 縄	3	x	2	x	1	x	-	-

## (3) 素材消費量（製材用動力の出力階層別）

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 ・ 都道府県	計	7.5~ 75.0kW 未 満	75.0 ~ 300.0	300.0kW 以 上	1,000.0kW以上
全 国	16,645	965	3,528	12,152	6,943
北 海 道	1,809	10	318	1,481	...
青 森	173	11	49	113	...
岩 手	629	38	75	516	...
宮 城	202	13	39	150	...
秋 田	507	53	75	379	...
山 形	267	12	30	225	...
福 島	685	29	148	508	...
茨 城	1,264	13	108	1,143	...
栃 木	451	19	81	351	...
群 馬	129	17	41	71	...
埼 玉	50	10	13	27	...
千 葉	45	x	25	x	...
東 京	13	3	10	-	-
神 奈 川	10	3	7	-	-
新 潟	105	24	42	39	...
富 山	208	7	34	167	...
石 川	57	13	15	29	...
福 井	59	x	37	x	...
山 梨	20	1	16	3	...
長 野	151	23	58	70	...
岐 阜	256	34	104	118	...
静 岡	216	47	99	70	...
愛 知	111	x	79	x	-
三 重	246	52	107	87	...
滋 賀	30	18	x	x	...
京 都	131	7	21	103	...
大 阪	13	x	5	x	...
兵 庫	167	12	57	98	...
奈 良	192	56	106	30	...
和 歌 山	205	32	99	74	...
鳥 取	44	x	25	x	...
島 根	98	8	45	45	...
岡 山	303	24	78	201	...
広 島	1,885	12	9	1,864	...
山 口	238	13	28	197	...
徳 島	219	24	89	106	...
香 川	53	x	11	x	...
愛 媛	736	7	143	586	...
高 知	433	11	135	287	...
福 岡	461	41	150	270	...
佐 賀	189	16	13	160	...
長 崎	41	x	19	x	...
熊 本	726	55	249	422	...
大 分	778	52	239	487	...
宮 崎	1,774	46	277	1,451	...
鹿 児 島	265	35	113	117	...
沖 縄	1	x	x	-	-

注：「1,000.0kW以上」は都道府県別に把握していない。

2 製材（平成30年）（続き）

(4) 用途別製材品出荷量

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計		建築用材				土木建設 用 材	木箱仕組 板・こん 包 用 材	家 具 ・ 建 具 用 材	そ の 他 用 材
	人工乾燥材	小計	板類	ひき割類	ひき角類					
全 国	9,202	3,930	7,468	1,674	2,876	2,918	376	1,125	61	172
北 海 道	873	85	362	120	202	40	36	409	10	56
青 森	82	10	36	x	14	x	2	43	x	1
岩 手	306	89	271	81	159	31	x	12	x	12
宮 城	95	34	90	12	39	39	x	0	x	0
秋 田	245	104	220	87	98	35	6	3	9	7
山 形	127	54	123	85	26	12	x	x	-	-
福 島	379	223	301	48	177	76	35	41	1	1
茨 城	728	469	716	50	208	458	0	12	0	0
栃 木	269	189	243	66	53	124	20	x	x	3
群 馬	73	24	39	21	5	13	25	8	x	x
埼 玉	30	12	27	10	3	14	x	0	-	x
千 葉	31	x	25	3	15	7	x	x	-	x
東 京	8	3	x	x	x	x	x	x	x	x
神 奈 川	6	x	5	1	1	3	-	x	0	x
新 潟	73	14	68	11	29	28	2	x	2	x
新 富 山	147	112	141	8	128	5	0	6	0	0
石 川	34	5	28	13	5	10	2	x	x	1
福 井	36	8	32	5	11	16	2	1	0	1
山 梨	15	x	4	2	1	1	8	x	x	x
長 野	96	38	51	26	7	18	33	10	1	1
岐 阜	145	71	125	38	33	54	8	3	3	6
静 岡	128	34	92	17	28	47	5	20	1	10
愛 知	69	7	41	15	9	17	6	6	11	5
三 重	160	69	143	26	50	67	4	9	2	2
滋 賀	23	3	8	2	2	4	x	14	x	0
京 都	95	77	92	43	36	13	1	2	0	-
大 阪	8	-	6	3	1	2	x	x	x	x
兵 庫	98	46	67	28	13	26	x	12	x	16
奈 良	115	48	101	26	51	24	1	13	0	0
和 歌 山	131	58	102	23	37	42	8	19	1	1
鳥 取	24	9	19	4	5	10	x	x	0	-
島 根	61	17	35	11	11	13	2	20	2	2
岡 山	160	84	147	35	29	83	2	6	5	-
広 島	1,058	600	909	17	314	578	4	144	x	x
山 口	134	54	109	11	44	54	7	17	x	x
徳 島	129	52	125	46	57	22	x	3	-	x
香 川	39	30	33	12	19	2	x	5	-	x
愛 媛	398	232	350	71	111	168	4	44	0	0
高 知	234	75	131	46	29	56	x	98	4	x
福 岡	257	83	231	97	89	45	13	9	1	3
佐 賀	110	0	90	77	3	10	x	-	-	x
長 崎	23	x	18	5	5	8	0	3	x	x
熊 本	400	120	367	99	115	153	10	17	x	x
大 分	434	188	398	66	151	181	19	13	1	3
宮 崎	973	445	811	149	417	245	49	86	3	24
鹿 児 島	142	52	130	44	35	51	3	6	1	2
沖 縄	1	-	x	x	x	x	x	-	x	-

## (5) 製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計	南洋材	米材	北洋材	ニュー ジー ランド材	その他
全 国	382	3	88	151	28	112

## 3 合単板及びLVL（平成30年）

## (1) 合単板工場数

単位：工場

区 分	計	単板のみ	普通合板のみ	普通合板 と 特殊合板	特殊合板のみ
全 国	180	10	33	1	136

## (2) 単板消費量

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計			合板用			LVL用		
	小計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材
全 国	3,901	3,138	763	3,640	2,924	716	261	214	47

## (3) 普通合板生産量

## ア 厚さ別生産量

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
全 国	3,298	70	458	1,535	1,235

## イ 針葉樹合板の厚さ別生産量（普通合板の内数）

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
全 国	3,150	20	437	1,465	1,228

3 合単板およびLVL（平成30年）（続き）

(3) 普通合板生産量（続き）

ウ 構造用合板の厚さ別生産量（針葉樹合板の内数）

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計	6mm未満	6～12	12～24	24mm以上
全 国	2,971	20	306	1,425	1,220

(4) 特殊合板生産量

単位：千m<sup>3</sup>

区 分	計
全 国	580

(5) LVL工場数及び生産量

区 分	工場数	生産量					
		計				構造用	その他
		小計	国産材	輸入材	混合		
全 国	工場 11	千m <sup>3</sup> 184	千m <sup>3</sup> 147	千m <sup>3</sup> 31	千m <sup>3</sup> 6	千m <sup>3</sup> 89	千m <sup>3</sup> 95

#### 4 木材チップ（平成30年）

##### (1) 木材チップ工場数

単位：工場

全 国 都道府県	計	木材チップ 専門工場	製材又は合単板工 場等との兼営工場
全 国	1,303	344	959
北 海 道	206	38	168
青 森	22	6	16
岩 手	48	13	35
宮 城	37	14	23
秋 田	33	10	23
山 形	36	7	29
福 島	38	8	30
茨 城	28	7	21
栃 木	29	2	27
群 馬	19	2	17
埼 玉	11	6	5
千 葉	9	2	7
東 京	6	2	4
神 奈 川	6	6	-
新 潟	18	8	10
富 山	21	6	15
石 川	8	2	6
福 井	14	8	6
山 梨	10	3	7
長 野	52	6	46
岐 阜	45	10	35
静 岡	59	19	40
愛 知	25	10	15
三 重	47	7	40
滋 賀	4	3	1
京 都	26	13	13
大 阪	5	5	-
兵 庫	32	11	21
奈 良	19	7	12
和 歌 山	21	8	13
鳥 取	4	2	2
島 根	16	9	7
岡 山	29	7	22
広 島	37	18	19
山 口	13	2	11
徳 島	25	3	22
香 川	8	1	7
愛 媛	39	5	34
高 知	29	8	21
福 岡	21	4	17
佐 賀	6	4	2
長 崎	6	3	3
熊 本	32	9	23
大 分	38	1	37
宮 崎	37	5	32
鹿 児 島	28	14	14
沖 縄	1	-	1

4 木材チップ（平成30年）（続き）

(2) 木材チップ生産量

全 国 都道府県	合 計						針 葉			
	計	素 材 (原木)	工 場 残 材		林地残材	解 体 材 ・ 廃 材	計	素 材 (原木)	工 場 残 材	
			自己の工場 から振り 向けたもの	他の工場 から購入 したもの					自己の工場 から振り 向けたもの	他の工場 から購入 したもの
全 国 (1)	5,706	2,481	1,823	274	105	1,023	3,452	1,285	1,811	257
北 海 道 (2)	813	546	257	-	-	10	502	250	252	-
青 森 (3)	175	153	16	6	-	-	128	106	16	6
岩 手 (4)	260	203	57	-	-	-	114	60	54	-
宮 城 (5)	209	85	76	24	-	24	152	52	76	24
秋 田 (6)	187	100	42	45	-	-	124	39	40	45
山 形 (7)	65	46	19	-	-	-	43	24	19	-
福 島 (8)	237	169	59	x	x	x	138	75	59	x
茨 城 (9)	395	49	314	-	4	28	348	32	314	-
栃 木 (10)	110	x	x	-	-	x	82	x	x	-
群 馬 (11)	44	17	x	x	-	x	25	15	x	x
埼 玉 (12)	50	17	4	x	x	24	15	6	4	x
千 葉 (13)	39	30	x	x	-	x	16	9	x	x
東 京 (14)	x	x	x	x	-	-	x	x	x	x
神 奈 川 (15)	105	-	-	-	-	105	-	-	-	-
新 潟 (16)	17	7	x	1	x	x	x	x	x	1
富 山 (17)	44	19	12	2	-	11	24	10	12	2
石 川 (18)	20	15	x	-	x	-	12	7	x	-
福 井 (19)	33	7	1	0	1	24	8	6	1	0
山 梨 (20)	63	62	1	-	-	-	38	37	1	-
長 野 (21)	57	38	15	3	-	1	52	35	15	2
岐 阜 (22)	81	35	26	5	1	14	64	33	25	5
静 岡 (23)	204	29	20	26	12	117	82	26	20	26
愛 知 (24)	91	7	4	1	-	79	8	3	4	1
三 重 (25)	62	18	12	11	-	21	37	15	12	10
滋 賀 (26)	36	x	x	x	-	x	x	x	x	x
京 都 (27)	104	43	6	1	1	53	37	29	6	1
大 阪 (28)	296	-	-	28	-	268	28	-	-	28
兵 庫 (29)	113	20	12	3	-	78	29	14	12	3
奈 良 (30)	27	3	7	16	-	1	24	3	7	14
和 歌 山 (31)	70	24	17	17	7	5	61	21	17	16
鳥 取 (32)	26	26	-	-	-	-	10	10	-	-
島 根 (33)	155	125	6	-	7	17	55	44	6	-
岡 山 (34)	54	12	38	3	1	-	46	4	38	3
広 島 (35)	473	96	221	36	61	59	334	27	221	25
山 口 (36)	57	27	30	-	-	-	40	10	30	-
徳 島 (37)	58	24	27	5	-	2	44	12	27	5
香 川 (38)	x	-	x	-	-	x	x	-	x	-
愛 媛 (39)	109	15	82	7	1	4	105	15	82	7
高 知 (40)	95	62	31	-	-	2	90	59	31	-
福 岡 (41)	77	15	25	2	-	35	38	11	25	2
佐 賀 (42)	34	x	x	-	-	x	x	x	x	-
長 崎 (43)	39	33	1	2	0	3	15	12	1	2
熊 本 (44)	164	68	87	8	-	1	140	45	87	8
大 分 (45)	115	13	102	-	-	-	111	9	102	-
宮 崎 (46)	138	39	89	10	-	-	117	19	88	10
鹿 児 島 (47)	100	85	15	-	-	-	59	44	15	-
沖 縄 (48)	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-

注：1 解体材・廃材は、針葉樹、広葉樹別に区分できないことから針葉樹、広葉樹別に把握していない。

2 針葉樹及び広葉樹の計は、それぞれ解体材・廃材を含まないため、合計の計と一致しない。



単位：千 t

樹	広葉樹					林地残材
	計	素材 (原木)	工場残材		林地残材	
			自己の工場 から振り 向けたもの	他の工場 から購入 したもの		
99	1,231	1,196	12	17	6	(1)
-	301	296	5	-	-	(2)
-	47	47	0	-	-	(3)
-	146	143	3	-	-	(4)
-	33	33	-	-	-	(5)
-	63	61	2	-	-	(6)
-	22	22	0	-	-	(7)
x	94	94	-	-	-	(8)
2	19	17	-	-	2	(9)
-	27	27	-	-	-	(10)
-	2	2	0	-	-	(11)
x	11	11	-	0	-	(12)
-	21	21	-	-	-	(13)
-	1	-	-	1	-	(14)
-	-	-	-	-	-	(15)
x	x	x	-	-	-	(16)
-	9	9	-	-	-	(17)
x	8	8	-	-	-	(18)
1	1	1	-	-	-	(19)
-	25	25	-	-	-	(20)
-	4	3	0	1	-	(21)
1	3	2	1	-	0	(22)
10	5	3	-	-	2	(23)
-	4	4	-	-	-	(24)
-	4	3	0	1	-	(25)
-	x	x	-	-	-	(26)
1	14	14	-	-	-	(27)
-	-	-	-	-	-	(28)
-	6	6	-	-	-	(29)
-	2	0	-	2	-	(30)
7	4	3	-	1	-	(31)
-	16	16	-	-	-	(32)
5	83	81	0	-	2	(33)
1	8	8	-	-	-	(34)
61	80	69	0	11	-	(35)
-	17	17	-	-	-	(36)
-	12	12	-	-	-	(37)
-	-	-	-	-	-	(38)
1	0	0	-	-	-	(39)
-	3	3	-	-	-	(40)
-	4	4	-	-	-	(41)
-	x	x	-	-	-	(42)
0	21	21	-	-	-	(43)
-	23	23	-	0	-	(44)
-	4	4	-	-	-	(45)
-	21	20	1	-	-	(46)
-	41	41	0	-	-	(47)
-	x	x	-	-	-	(48)

## 5 集成材及びCLT（平成30年）

### (1) 集成材及びCLT工場数

単位：工場

区分	集成材工場	CLT工場
全国	165	9

### (2) ラミナ消費量

単位：千m<sup>3</sup>

区分	計			集成材用			CLT用		
	小計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材	小計	国産材	輸入材
全国	2,711	1,071	1,640	2,691	1,051	1,640	20	20	-

注： CLT工場については、全数調査を実施したが既存階層、新規調査階層のいずれにおいても調査票の未回収が発生したため全数集計ができなかった。

このため、既存階層については前年のCLT生産量を用いて推定を行ったものの、新規調査階層においては前年のCLT生産量を用いた推定ができないことから、新規調査階層及び全国計の調査結果には未回収工場の調査結果が含まれていない（以下（4）の統計表において同じ。）。

### (3) 集成材生産量

単位：千m<sup>3</sup>

区分	計	構造用				その他
		小計	大断面	中断面	小断面	
全国	1,923	1,852	27	784	1,041	71

### (4) CLT生産量

単位：千m<sup>3</sup>

区分	計	構造用	その他
全国	14	13	1

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、木材統計調査の基礎調査として実施したものであり、素材生産並びに木材製品の生産及び出荷等に関する実態を明らかにし、林業行政の基礎資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の対象

全国の製材工場（製材用動力の出力数が7.5kW以上の工場）、合単板工場、木材チップ工場、集成材工場、LVL工場及びCLT工場であって、調査年の12月31日現在で事業を行っているもの又は休業中であってもその休業期間の開始時期が調査年の10月1日以降であるものを対象とした。

なお、調査対象工場については次のとおり選定した。

#### (1) 製材工場

都道府県別に、調査年の前年に操業実績があった工場（以下「既存工場」という。）を、調査年の前年の製材用素材の消費量により、次のアからウに示す規模階層区分を行い調査対象工場を抽出した。

なお、既存工場数が3以下の都道府県においては、規模階層区分は行わず既存工場全てを第1階層として抽出した。

このほか、調査年に新規に操業を開始し、又は操業を再開した工場（以下「新設・再開工場」という。）は、新規調査階層として、全てを調査対象工場とした。

##### ア 第1階層

既存工場を素材消費量の最も多い工場から順に配列し、その累積素材消費量がその都道府県の素材消費量の70%を上回るまでの製材工場とし、この階層は全数調査を行った。

##### イ 第2階層

既存工場を素材消費量の最も多い工場から順に配列し、その累積素材消費量がその都道府県の素材消費量の90%を上回るまでの製材工場から第1階層に属する製材工場を除いた製材工場とし、この階層は標本調査を行った。

調査対象工場数は、調査対象工場の製材用素材消費量の合計がその都道府県の製材用素材消費量の8%となるように算出し、第2階層に属する工場を製材用素材消費量の多い工場から順に配列した一覧表を用いて、系統抽出の方法により抽出した。

##### ウ 第3階層

既存工場のうち、第1階層及び第2階層に属する製材工場以外の製材工場とし、この階層は標本調査を行った。

調査対象工場数は、調査対象工場の製材用素材消費量の合計がその都道府県の製材用素材消費量の2%となるように算出し、第3階層に属する工場を製材用素材消費量の多い工場から順に配列した一覧表を用いて、系統抽出の方法により抽出した。

(2) 木材チップ工場

都道府県別及び兼営区分別（木材チップ専門工場、製材工場又は合単板工場との兼営工場の別をいう。以下同じ。）に、既存工場については、調査年の前年の木材チップ生産量によりそれぞれ(1)のアからウまでに準じ規模階層区分を行い、調査対象工場を抽出した。

なお、既存工場数が3以下の都道府県においては、規模階層区分は行わず既存工場全てを第1階層として抽出した。

このほか、新設・再開工場は、新規調査階層として、全てを調査対象工場とした。

(3) 合単板工場

都道府県別及び工場類型別（単板専門工場、普通合板工場及び特殊合板専門工場の別をいう。以下同じ。）に、既存工場については、単板専門工場は調査年の前年の単板製造用素材入荷量、普通合板工場は調査年の前年の普通合板生産量、特殊合板専門工場は調査年の前年の特殊合板生産量により、それぞれ(1)のアからウまでに準じ規模階層区分を行い、調査対象工場を抽出した。

ここで、単板専門工場とは単板を専門に製造する工場を、普通合板工場とは普通合板を製造する工場を、特殊合板専門工場とは特殊合板を専門に製造する工場をそれぞれいう。

なお、都道府県別の工場数が3以下となる場合は、規模階層区分は行わず、全ての工場を調査対象工場とした。

また、新設・再開工場は、新規調査階層として、全てを調査対象工場とした。

(4) L V L工場

全国のL V L工場を既存階層（既存工場）及び新規調査階層（新設・再開工場）に区分し、それぞれ全てを調査対象工場とした。

(5) 集成材工場

全国の集成材工場を既存工場については、調査年前年の集成材生産量により、それぞれ(1)のアからウに準じ規模階層区分を行い、調査対象工場を抽出した。

このほか、新設・再開工場は、新規調査階層として、全てを調査対象工場とした。

(6) C L T工場

全国のC L T工場を既存階層（既存工場）及び新規調査階層（新設・再開工場）に区分し、それぞれ全てを調査対象工場とした。

### 3 調査対象工場数

調査対象工場数及び回収数は、次のとおり。

区 分	母集団の大きさ ①	調査対象数 ②	抽出率 ③=②/①	有効回収数 ④	有効回収率 ⑤=④/②
製 材 工 場	4,654	1,644	35.3	1,471	89.5
合 単 板 工 場	186	129	69.4	121	93.8
L V L 工 場	11	11	100.0	11	100.0
木材チップ工場	1,339	824	61.5	824	100.0
集 成 材 工 場	168	67	39.9	67	100.0
C L T 工 場	9	9	100.0	7	77.8

注：「有効回収数」は、調査票の回収があったもののうち、調査対象としての要件を満たさなかった工場を除いた数である

### 4 調査事項

製 材 工 場 … 製材に用いる動力の出力数、製材用素材の入荷量及び消費量、製材品の出荷量及び在庫量

合 単 板 工 場 … 単板用素材の入荷量、合板用単板消費量、合板の生産量及び在庫量

木材チップ工場 … チップ用素材の入荷量、木材チップの生産量及び在庫量

L V L 工 場 … L V L 用単板消費量、L V L の生産量及び在庫量

集 成 材 工 場 … 集成材用ラミナ消費量、集成材の生産量及び在庫量

C L T 工 場 … C L T 用ラミナ消費量、C L T の生産量及び在庫量

### 5 調査期間

調査期日を平成30年12月31日現在とし、過去1年間の状況について調査した。

### 6 調査方法

オンライン、郵送又は統計調査員により調査対象工場に調査票を配布し、回収する自計調査の方法により行った。

なお、自計調査の方法によることのできない場合は、統計調査員による調査対象者に対する面接調査の方法により行った。

### 7 推定方法

推定は、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場については、都道府県別に次のとおり行い、全国結果は、都道府県結果の積算により作成した。

また、L V L 工場、集成材工場及びC L T 工場については、都道府県別の集計を行わず全国で次のとおり計算及び推定を行い全国結果を作成した。

なお、C L T 工場については、全数調査を実施したが既存階層、新規調査階層のいずれ

においても調査票の未回収が発生したため全数集計ができなかった。

このため、既存階層については前年のCLT生産量を用いて推定を行ったものの、新規調査階層においては前年のCLT生産量を用いた推定ができないことから、新規調査階層及び全国計の調査結果には未回収工場の調査結果が含まれていない。

工場数については、調査対象工場の選定にあたって作成した「工場一覧表」を用いて、都道府県別、製材用動力の出力規模別等を作成した。

#### (1) 製材工場

推定は、次の推定式のとおり行った。

(推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{ni} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{ni} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X：当該項目（x）の合計値の推定値

L：標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

ni：標本調査階層のi番目の階層の標本工場数

x<sub>ij</sub>：標本調査階層のi番目の階層のj番目標本工場の当該項目（x）の値

y<sub>ij</sub>：標本調査階層のi番目の階層のj番目標本工場の調査年前年の素材消費量

Y<sub>i</sub>：標本調査階層のi番目の階層の調査年前年の素材消費量

S：第1階層の当該項目（x）の合計値

P：新規調査階層の当該項目（x）の合計値

#### (2) 木材チップ工場

推定は、兼営区分別ごとに次の推定式のとおり行い、兼営区分別の推定値を合計して全体の推定値とする。

なお、推定式中の「y<sub>ij</sub>」及び「Y<sub>i</sub>」については、木材チップ用素材に関する項目の推定においては「木材チップ用素材の入荷量」、木材チップ生産量に関する項目の推定においては「木材チップ生産量」を用いる。

(兼営区分別の推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{ni} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{ni} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X：当該項目（x）の合計値の推定値

L：標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

ni：標本調査階層のi番目の階層の標本工場数

x<sub>ij</sub>：標本調査階層のi番目の階層のj番目標本工場の当該項目（x）の値

$y_{ij}$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の  $j$  番目標本工場の調査年前年の木材チップ用素材の入荷量 (木材チップ生産量)

$Y_i$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の調査年前年の木材チップ用素材の入荷量 (木材チップ生産量) の合計

$S$  : 第1階層の当該項目 ( $x$ ) の合計値

$P$  : 新規調査階層の当該項目 ( $x$ ) の合計値

### (3) 合単板工場

推定は、工場類型別に次の推定式のとおり行い、工場類型別の推定値を合計して全体の推定値とした。

なお、推定式中の「 $y_{ij}$ 」及び「 $Y_i$ 」については、単板製造用素材に関する項目の推定にあつては「単板製造用素材の入荷量」、普通合板の生産量に関する項目の推定にあつては「普通合板生産量」、特殊合板の生産量に関する項目の推定にあつては「特殊合板生産量」を用いた。

(工場類型別の推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{n_i} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

$X$  :  $x$  の合計値の推定値

$L$  : 標本調査階層 (規模階層の第2階層及び第3階層) の数

$n_i$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の標本工場数

$x_{ij}$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の  $j$  番目標本工場の ( $x$ ) の値

$y_{ij}$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の  $j$  番目標本工場の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量 (普通合板生産量又は特殊合板生産量)

$Y_i$  : 標本調査階層の  $i$  番目の階層の調査年の前年の単板製造用素材の入荷量 (普通合板生産量又は特殊合板生産量) の合計

$S$  : 第1階層の ( $x$ ) の合計値

$P$  : 新規調査階層の ( $x$ ) の合計値

### (4) LVL工場

(全国の計算式)

$$X = S + P$$

$X$  : 当該項目 ( $x$ ) の合計値

$S$  : 既存階層の当該項目 ( $x$ ) の合計値

$P$  : 新規調査階層の当該項目 ( $x$ ) の合計値

(5) 集成材工場  
(全国の推定式)

$$X = \sum_{i=1}^L \frac{\sum_{j=1}^{ni} x_{ij}}{\sum_{j=1}^{ni} y_{ij}} \cdot Y_i + S + P$$

X：当該項目（x）の合計値の推定値

L：標本調査階層（規模階層の第2階層及び第3階層）の数

ni：標本調査階層のi番目の階層の標本工場数

xij：標本調査階層のi番目の階層のj番目標本工場の当該項目（x）の値

yij：標本調査階層のi番目の階層のj番目標本工場の調査年前年の集成材生産量

Yi：標本調査階層のi番目の階層の調査年前年の集成材生産量

S：第1階層の当該項目（x）の合計値

P：新規調査階層の当該項目（x）の合計値

(6) CLT工場  
(全国の計算式)

$$X = S + P$$

X：当該項目（x）の合計値

S：既存階層の当該項目（x）の合計値

P：新規調査階層の当該項目（x）の合計値

## 8 目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

## 9 用語の解説

### (1) 素材需給関係

素

材

用材（薪炭材及びしいたけ原木を除く。）に供される丸太及びそま角をいい、輸入木材にあつては、半製品（大中角、盤及びその他の半製品）を含めた。

「大中角」とは、ひき角類（(2)参照）のうち一般に大中角と称されるものをいい、一定の規格は定められていない。米材では通常一辺の長さが18インチ（46cm）以上を大角、18インチ未満で10インチ（25cm）以上のものを中角と称するが、取引に際しては大中角として一括されている。

「盤」とは、ひき割類（(2)参照）のうち一般に盤と称され



るものをいい、一定の規格は定められていない。米まつ、米つが、スプルス、チーク材に多く、米材では厚さ3～6インチ(7.6～15.2cm)、幅10～12インチ(25～30.5cm)、長さ20フィート(6m)以上のものとしている。

「その他の半製品」とは、「大中角」及び「盤」以外の製材品で、一般に再製材しないと利用できないものをいう。

素 材 需 要 量 製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。

素 材 供 給 量 山元段階の調査が困難なことから、本調査においては工場への素材入荷量をもって供給量としている。

なお、国産材である素材については、その入荷元である都道府県で生産されたものとして各都道府県の素材生産量とした。

南 洋 材 ベトナム、マレーシア、フィリピン、インドネシア、パプアニューギニアなどの南方地域から輸入される木材の総称で、きり、リグナムバイタ及びチークの3樹種を除いた全ての樹種をいう。

米 材 アメリカ合衆国及びカナダから輸入される木材で、樹種は問わない。主要樹種は、米つが、米まつ、スプルス、米すぎ、米ひのき等である。

北 洋 材 ロシアから輸入される木材で、樹種は問わない。主要樹種は、北洋からまつ、北洋えぞまつ、北洋とどまつ等である。

ニュージーランド材 ニュージーランドから輸入される木材で、樹種は問わない。主要樹種は、ニュージーランドまつである。

その他の輸入材 南洋材、米材、北洋材、ニュージーランド材以外の輸入木材である。

## (2) 製 材 関 係

製 材 素 材 から製材品を生産することをいう。

製 材 工 場 製材を行う事業所をいい、移動製材工場を含める。ただし、製材に用いる動力の出力数が7.5kW未満の工場は除く。

製 材 用 動 力 製材用機械の原動力(モーター等)をいう。この場合、製材機用だけでなく、それに付属する設備(例えば目立機、巻き上げ機、ベルトコンベアーなど)の動力も含める。

製材用素材入荷量	製材に供するために工場土場（工場に隣接している駅土場や貯木場も含む。）に入荷した素材の量で、転売したものを除き、賃びきを依頼されたものを含める。
半製品	大中角、盤及びその他の製材品で、一般に再製材しないと利用できないものをいう。
素材消費量	製材機にかけた素材の量をいう。
製材品出荷量	手持ち材による製材品で販売したもの（製材品販売量）及び自家業務用（工場の補修、改修等）に消費したもの並びに賃びき材による製材品の総量をいう。
建築用材	土台、柱、桁、板等建築用に仕向けられる材をいう。
板類	厚さが7.5cm未満で、幅が厚さの4倍以上のものをいう。 また、板類には、床板用原板（えん甲板用原板、広葉樹フローリング用原板）を含む。
ひき割類	厚さが7.5cm未満で、幅が厚さの4倍未満のものをいう。
ひき角類	厚さ及び幅が7.5cm以上のものをいう。
土木建設用材	コンクリートパネル、土止め板、橋りょう用材など土木用仮設材をいう。
木箱仕組板・ こん包用材	りんご箱、みかん箱、魚箱など多くの場合セットになっている仕組板、機械こん包用材及び電線巻き取り用材等をいう。
家具・建具用材	たんす、机、テーブル、キャビネット等及び窓枠、障子、ふすま等家具及び建具用に仕向けられる材をいう。
その他用材	上記分類に含まれない造船車両用材、まくら木、機械部分用材、運動用具、腕木、たる、おけ用材、木型用材などがある。
人工乾燥材	乾燥施設によって人工的に温度・湿度を調節し乾燥処理をしたもので、含水率25%以下のものをいう。

### (3) 合単板及びLVL関係

合単板工場	単板、普通合板及び特殊合板を製造する工場をいう。
単板	合板及びLVLに用いるために、素材から、ロータリーレース、スライサー又はベニヤソーを使用して生産された木材の薄板をいう。 その製造法によって、ロータリー単板、スライド単板、ソーン単板及びハーフランド単板の種類がある。
単板消費量	合板及びLVLを生産することを目的として振り向けた単板の量をいう。この場合、自工場における消費量とし、自社他工場分等は含めない。
合板	単板（心板にあっては小角材を含む。）を3枚以上を主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして、接着したものをいう。
普通合板の生産量	自工場で生産された普通合板の量をいい、自社他工場から受入れたものは除く。なお、購入した単板から生産したものは含めた。
特殊合板の生産量	自工場で生産された特殊合板の量をいい、自社他工場から受入れたものは除く。
普通合板	表面にオーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施さない合板をいう。
針葉樹合板	針葉樹材で生産された普通合板をいい、本調査では「全針葉樹合板」のみを調査対象とする。
構造用合板	ツーバイフォー住宅などの建築物の耐力構造上必要な部位に使用される合板。（JAS規格により厚さ等の規格を定めている。）
特殊合板	普通合板の表面に美観、強化を目的とする薄板の張り付け、オーバーレイ、プリント、塗装等の加工を施した合板をいう。
LVL工場	LVLを生産する事業所をいう。
LVL	単板を主としてその繊維方向を互いにほぼ平行にして積層接着したもの及び繊維方向が直交する単板を用いた場合にあっては、直交する単板の厚さの合計が製品の厚さの30%未満であり、か

つ、当該単板の枚数の構成比が30%以下であるものをいう。「単板積層材<sup>たんばんせきそうざい</sup>」とも呼ばれる。

L V L の生産量	自工場で生産されたL V Lの量をいい、自社他工場から受け入れたものは除く。
構造用 L V L	L V Lのうち、主として構造物の耐力部材として用いられるものをいう。
その他の L V L	構造用以外のL V L（造作用L V L等）をいう。

#### (4) 木材チップ関係

木材チップ	素材、工場残材、林地残材及び解体材・廃材からチップパー等を用いて生産したパルプ、紙、繊維板、削片板等の原料とする木材の小削片をいう。 一般に白チップ（皮むき）、黒チップ（皮付き）及び針葉樹・広葉樹別等に分類される。
木材チップ工場	木材チップを生産する事業所をいう。 この調査では、製材工場、合単板工場、L V L工場、集成材工場、C L T工場、家具・建具工場等との兼営工場は木材チップ工場に含めるが、製紙工場、パルプ工場、繊維板工場及び削片板工場における調木、原料製造の一工程として木材チップを生産しているものは除外する。
木材チップ生産量	木材チップ工場におけるチップ生産量をいい、絶乾重量（t）とする。 なお、絶乾重量とは、含水率を検定して絶乾比重（含水率0%）に基づき算出された実重量である。
工場残材	製材工場、合単板工場及びその他木材加工工場において製品を生産した後にできる端材をいう。 この場合、例えば合単板工場における単板生産後のむき芯材等についても含める。
林地残材	立木伐採後の林地において玉切り又は造材により生じた根株、枝条等をいう。
解体材・廃材	家屋等を解体した際の古材及び電柱材、足場丸太、くい丸太、まくら木等、既に利用に供された木材をいう。

(5) 集成材及びCLT関係

集成材工場	集成材を生産する事業所をいう。
集成材	ひき板、小角材等の部材（ラミナ）をその繊維方向を互いにほぼ平行にして、厚さ、幅及び長さの方向に集成接着したものをいう。
ラミナ	集成材及びCLTを構成する最小単位のひき板（ひき板をその繊維方向を互いにほぼ平行にして長さ方向に接合接着して調整したもの、小角材をその繊維方向を互いにほぼ平行にして幅方向に接着したもの及びそれをさらに長さ方向に接合接着したものを含む。）をいう。
ラミナ消費量	集成材及びCLTを生産する目的として振り向けたラミナの量をいう。この場合、自工場における消費量とし、自社他工場分等は含めない。
集成材の生産量	自工場で生産された集成材の量をいい、自社他工場から受入れたものは除く。
CLT工場	CLTを生産する事業所をいう。
CLT	ひき板又は小角材（これらをその繊維方向を互いにほぼ平行にして長さ方向に接合接着して調整したものを含む。）をその繊維方向を互いにほぼ平行にして幅方向に並べ又は接着したものを、主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして積層接着し3層以上の構造を持たせたものをいう。「直交集成板 <sup>ちよつこうしゅうせいばん</sup> 」とも呼ばれる
CLTの生産量	自工場で生産されたCLTの量をいい、自社他工場から受け入れたものは除く。
構造用CLT	CLTのうち、主として構造物の耐力部材として用いられるものをいう。
その他のCLT	構造用以外のCLT（造作用CLT等）をいう。

## 10 その他

この資料（平成31年4月25日公表）の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（本年12月予定）するとともに、その後発行する『平成30年木材需給報告書』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

### 【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/index.html#y> 】

### 【関連リンク】

林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/>

#### お問合せ先

##### ◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3686  
（直通）03-3502-5665  
FAX： 03-5511-8771

##### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 広報普及班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589  
（直通）03-6744-2037  
FAX： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>